

# 伝



高玉芝居 高栄会  
児玉 敏 座長

今、消えかけている  
伝承の灯

「役者が足りない」——。高玉芝居の現状について、そう話すのは高玉芝居高栄会の児玉敏座長。現在、高栄会には15人の団員が所属していますが、ベテラン団員の高齢化や退団、若い団員は就職と同時に退団してしまうこともあるため、役を任せられるまで育てられないといった問題も抱えていると言います。児玉

## 伝承の灯を絶やさぬために。

座長は「役を任せられるようになるまで、少なくとも3〜5年の経験は必要」と話し「年齢や経験の有無を問わず長い目で育てていくので、やってみたいという気持ちがある方はぜひ声をかけてほしい」と続けました。

観に来ていただける皆さんがいるから続いている

11月23日に、蚕桑地区コミュニティセンターで開催された定期公演。毎年2月に開催されていましたが、駐車場の確保等の問題から今年は雪の降る前に変更されました。しかし、開催日の周知がうまく行き届いていなかったため、開催日の一週間前になっても大量に残るチケット。それでも「一人でも多くの方に芝居を観に来てほしかった」と、児玉座長は、主催の蚕桑地区コミュニティセンターと協力し、マスコミ・報道に呼びかけたり、自らラジオに出演するなどPR。約280枚のチケットは完売し、当日、会場は満員のお客さんで埋め

尽くされました。芝居の途中のあいさつで「高玉芝居は、観に来ていただける皆さんがいるから続いている」と感謝の気持ちを述べた児玉座長。終演後、来場者からは「毎年観に来ているが、今までで一番力が入っていた」「これからもずっと観にきたい」と存続を願う声が聞かれました。



取材に伺った日の最後、「私の代で伝承の灯を絶やすわけにはいかない」と固い決意を言葉にした児玉座長。不安を抱える中、絞り出すように口にしたその言葉が印象的でした。

演じる人が変われども、変わらずに観る人の心を動かす高玉芝居。小さくなりかけている灯をもう一度、大きな灯にするために、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

### 新規入団員を募集しています

男女、年齢問わず、芝居に興味のある方を募集しています。芝居の経験がない方、お仕事をされている方、大歓迎です。入団を希望される方、一度お話を聞いてみたいという方は、問い合わせ先までご連絡ください。

#### ■問い合わせ

高玉芝居 高栄会 座長 児玉 敏

☎090-9423-0857

教育委員会生涯学習・文化振興係

☎85-6146



感情を含め、力いっぱい演技する団員。その迫真の演技に、見入る観客の手にも自然と力が入る

